

センター行事メモ

●海外研究者招聘

年 月 日	招 聘 者	招 聘 目 的
1996. 7. 11～ 1996. 7. 12	キエフ原子力研究所 Dr. Vitali Denisov	講演「多次元模型による障壁以下での重イオン核融合」
1996. 8. 9～ 1996. 8. 25	バージニア工科大学 Prof. Yuriko Renardy	2 流体 Benard 対流における余次元 2 分岐の解析
1996. 8. 9～ 1996. 8. 25	バージニア工科大学 Prof. Michael Renardy	2 流体 Benard 対流における余次元 2 分岐の解析
1996. 9. 4～ 1996. 9. 5	ノッテングム大学 Dr. Kwing-So Choi	講演 "Turbulence management and active boundary layer control"
1996. 9. 5～ 1996. 9. 21	オックスフォード大学 Dr. Hans Kraus	超伝導トンネル接合素子製作技術, 信号処理技術等の実験結果解析に関する討論
1996. 9. 27	オーストラリア国立大学 Dr. Serdar Kuyucak	大変形・超変形原子核の高スピン状態に関する理論研究に関する講演
1996. 10. 16～ 1996. 10. 30	バージニア大学 Dr. John Frederick Hawley	高ベータな場合と相違点及びバルーニングモード相当する磁気不安定性の影響に関する議論
1996. 10. 24～ 1996. 11. 6	ハーンマイトナー研究所 Dr. Ferenc Mezei	超パルス中性子利用及び中性子散乱施設計画に関する討論
1996. 11. 4～ 1996. 11. 16	重イオン研究学際センター Dr. Marcel Toulemonde	各種固体における高エネルギー重イオン照射効果に関する討論
1996. 11. 4～ 1996. 11. 16	アルゴンヌ国立研究所 Dr. Marquis Albert Kirk	金属のカスケード損傷形成における電子励起効果に関する討論
1996. 11. 11～ 1996. 11. 23	カルポフ物理化学研究所 Dr. Leonid I. Trakhtenberg	固体水素中での水素原子のトンネリング反応の理論計算に関する討論
1996. 11. 25～ 1996. 11. 29	ミシガン州立大学 Prof. H. Ti Tien	液/液, 液/膜界面でのイオン移動反応を利用する新分離法, 新センサー開発の討論
1996. 11. 25～ 1996. 11. 29	ローザンヌ工科大学 Prof. Hubert H. Girault	液/液, 液/膜界面でのイオン移動反応を利用する新分離法, 新センサー開発の討論
1996. 11. 25～ 1996. 11. 27	コトルバ物理化学研究所 Dr. An M. Baruzzi	講演 "Cation Interaction with a Photopholipid Monolayer at the Water/1,2-DCE Interface"
	カリフォルニア大学 Prof. Alexander G. Volkov	講演 "Energetics of Extraction and Separation: Ion Resolution and the Gibbs Free Energy Transefer"

年 月 日	招 聘 者	招 聘 目 的
	ミシガン州立大学 Dr. Angelica L. Ottova	講演 “Electrical Properties of Self-assembled BLMs on Metal Supports”
	中国科学アカデミー Prof. Erkang Wang	講演 “Some Aspects on Electrochemistry at the Liquid/Liquid and Liquid/Membrane Interface”
	ブタベスト工科大学 Prof. George Horvai	講演 “Computer Models and Experiments for the Interpretation of Ion-selective Electrode Membrane Behavior”
	チェコ共和国原子力研究所 Dr. Jiri Rais	講演 “Extraction of Electrolytes. Theory and Use in Nuclear Science”
	ヘイロフスキー物理化学研究所 Dr. Vladimir Marcek	講演 “Fluctuation Analysis and Faradaic Impedance at Micro Liquid/Liquid Interface”
	ヘイロフスキー物理化学研究所 Dr. Zdenek Samec	講演 “Thermodynamics and Kinetics of the Ion Transfer at Liquid/Liquid and Liquid/Membrane Interface”
1996.12.5～ 12.6	重イオン研究所 Prof. Gottfried Münzenberg	超重核合成の研究に関する実験的及び理論的検討
1996.12.16～ 12.17	クルチャトフ研究所 Dr. Alexander Ryazanov	高エネルギー粒子照射したアモルファスの照射効果に関する議論

●基礎科学セミナー（第63～80回）

年 月 日	開 催 テ ー マ
1996.7.11	Multi-dimensional Model of Subbarrier Fusion of Heavy Nuclei
1996.7.23	Nuclear Multifragmentation
1996.8.2	アクチノイド等の新原理分離・濃縮法
1996.8.22～8.23	トンネル反応と生物効果
1996.8.23	Oklo Runaissance
1996.9.5	遷移過程とその制御
1996.9.11	超伝導トンネル接合素子による放射線検出
1996.11.5	アクチノイド溶液化学における研究
1996.11.7～11.8	高エネルギーを照射した物質における電子励起効果と低温物性
1996.11.8	The Flow and Stability of a Thin Liquid Film Flowing over a Rotating Disc and its Application in an Intensified Absorption Heat Pump

年 月 日	開 催 テ ー マ
1996. 11. 12~11. 13 1996. 11. 14	中性子構造生物学の将来と現状 重イオン照射した金属のカスケード損傷生成過程における電子格子相互作用の役割 CILIL(重イオン学際センター)における GeV 重イオンを用いた最近の研究
1996. 11. 19	極低温固相水素等におけるトンネリング反応の理論的な取り扱い
1996. 11. 22	オクロ釷床と同位体地球化学
1996. 11. 25~11. 26	アクチノイド溶液化学の研究：液/液，液/膜界面におけるイオン移動
1996. 11. 29	量子計測法の研究
1996. 12. 6	超重核 Z=110, Z=111, Z=112 の発見と更に重い核合成への展望
1996. 12. 17	Incubation Does for Anisotropic Growth of Amorphous Alloys under High Energy Heavy Ion Bombardment
1996. 12. 24	極低温における放射線物性の研究

編集後記



本ノートも通刊7号を迎え、編集委員会も3期目に入った。最近は大センターの成果も充実してきたためか記事に力が入り、その結果やや専門化し「解りやすく」から外れる傾向にあると指摘されるようになった。前号あたりから、ノート記事の分量も増し、「気軽に読みこなせる」分量かなと思う点もある。しかし、これも大センターと共に本ノートも成長していると解釈して頂ければとの自己弁護をお許し頂きたい。本号には、センター外からの初のノート記事として、特別寄稿の解説記事を載せることもできた。情性に流れることなく、前期までに確立された路線に沿って親しみやすい内容を提供して行きたい。(M.S.)